

つくば市指定管理者実績評価表

所管課	市民部文化芸術課
評価対象期間	令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで

1 施設の概要

施設概要	名称	つくば市立ノバホール			
	所在地	つくば市吾妻一丁目10番地1			
	関係条例等	つくば市立ノバホール条例			
	設置目的	地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、文化水準の向上に寄与するため。			
指定管理者	名称	公益財団法人つくば文化振興財団			
	所在地	つくば市竹園1丁目10番地1			
指定管理業務の内容		指定管理者が行う業務 (1) 利用に関する業務 ① 利用の受付及び許可 ② 利用料金の収受 ③ 利用の促進 (2) 管理運営に関する業務 ① 組織体制及び人員配置等 ② 個人情報保護及び情報公開 ③ 事業計画書等の作成 ④ 事業報告書等の作成 ⑤ 環境への配慮 (3) 維持管理に関する業務 ① 施設維持管理業務 ② 保守点検業務 ③ 運転操作及び監視業務 ④ 建築物環境衛生管理業務 ⑤ 備品管理業務 ⑥ 清掃業務 ⑦ 保安警備業務 ⑧ 掲示物・配布物の管理 (4) 事業に関する業務 ① 地域の芸術文化の振興を図り、文化水準の向上を目指すための業務 ② 公演、演劇の企画運営			
指定期間		平成30年(2018年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで(5年間)			
総合評価(年度評価)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	A	A	A	B	

管理運営実績データ

施設名	つくば市立ノバホール		
	目標・計画等	実績	原因・指示・勧告等
利用者数 稼働率等	ノバホールは、国内でも有数の優れた音響効果を持つホールとして、市民サービスの向上を図りながら効率的な運用を行い、稼働率を維持していく。 また、小ホールの利用促進を図る。 目標値(利用率) ホール 80%以上 小ホール60%以上	【令和4年度実績】 ○ホール ・利用日数 :181日 ・利用可能日数:244日 ・利用率 :74% ・利用者数 :70,584人 ○小ホール ・利用日数 :108日 ・利用可能日数:158日 ・利用率 :68% ・利用者数 :5,617人	新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの業務となり、利用控えなどの影響もあったため、目標値には達しなかったが、徐々に利用者が増加してきた。10月からセンタービルリニューアル工事により小ホールは休館、ホールは平日日中を休館としているため、利用日数に制限があった。 次年度も引き続き対策を取りながら利用率の向上を図るよう要請する。
自主事業 (講座・セミナー等)	施設の特性の理解を深める体験型企画や、小ホールの利用促進を図るための事業を企画する。	【R4年度実績】 ○秘蔵の一枚 聞かせてく れませんか	新規企画で「秘蔵の一枚聞かせてくれませんか」を実施し、ホワイエの「響き」を体験するとともに、ホワイエの新たな利用方法を提案した。
アンケートの実施状況 (利用者の満足度、苦情等)	利用者の立場にたった施設運営を行う。また、利用者へのアンケートを実施し、利用者の意見や要望をもとに、職員研修等を行い、今後のサービス改善につなげていく。 ○実施方法 ①貸館利用者の代表者に個別に紙のアンケート用紙を配布し、回収 ②施設内に来場者が記入できる用紙を設置し、回収 ③WEBのアンケートフォームから回答 ○実施時期 通年	【R4年度利用者アンケート】 回答件数 172件 ①管理は行き届いているか 「満足」92.4% 「普通」7.6% 「不満」0% 「無回答」0% ②利用しやすいか 「満足」91.9% 「普通」5.8% 「不満」2.3% 「無回答」0% ③職員の対応 「満足」95.9% 「普通」4.1% 「不満」0% 「無回答」0%	小ホールの利用停止に伴い、「利用しやすいか」の満足度の低下がみられたが、「職員の対応」は95%以上が「満足」と回答しており、適切な管理運営が行われていることがうかがえる。
収支状況	全ての業務において、経費の精査を行い、経費節減に努める。 また、補助金等の外部資金の導入に積極的に取り組み、財源を確保し、施設の安定的な運営につなげる。 【R4年度計画】 ○収入 95,846,000円 指定管理料58,869,000円 利用料収入35,456,000円 その他 1,521,000円 ○支出 95,846,000円 人件費 28,982,000円 その他経費66,864,000円	【R4年度決算】 ○収入 101,081,752円 指定管理料 65,774,530円 利用料収入 26,962,638円 その他 8,344,584円 ○支出 96,179,222円 人件費 25,774,333円 その他経費 70,404,889円 ○収支差引額 4,902,530円 【利用料金の減免状況】 日数 11日 金額 1,291,730円	新型コロナウイルス感染症の影響により利用料収入は計画よりも低くなっている。 なお、エネルギー高騰による光熱費の増加分については、補正予算により指定管理料を増額した。 また、新型コロナウイルス感染症を理由とした施設予約キャンセルに伴う還付金及び改修工事に伴う休館分の減収についても補正予算で補償した。

2 評価結果

評価項目		
(1) 管理状況	項目	視点
	①適切な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。(清掃、警備、保守点検、環境配慮等)
	②適切な職員配置	職員配置は適切か。(有資格者等の配置)
	③職員研修・人材育成	職員教育、育成は適切に行われたか。(就業規則、接遇等研修、法令、情報管理等)
	④職員の労働環境	労働条件や労働環境は適正か。
	⑤個人情報の取り扱い	個人情報保護及び情報公開は適切に行われたか。
	⑥安全対策・事故防止対策	来館者の安全対策、事故防止策は適切であったか。
	⑦危機管理体制	防犯及び防災、その他事故等緊急時の体制、対応は十分であったか。
	【評価の理由】 ①施設の維持管理については、仕様書に基づく管理のほか必要に応じた清掃、警備、保守点検、環境配慮等も法基準に則した保守管理を実施している。また、手指消毒液やアクリル板の設置、非接触型体温計の貸出し、キャッシュレス決済等の新型コロナウイルス感染症対策を行っている。 ④職員の有給休暇の取得率が平均91.9%で全国平均58.3%※を大きく上回り、適切な労働環境が確認できた。※厚生労働省「令和4年度就労条件総合調査」より ⑦危機管理体制については、警察と定期的に利用者状況を共有し、巡回の強化をお願いする等、連携を図っている。	
	項目	視点
(2) 運営状況	①平等利用の確保	平等・公平な利用に配慮されていたか。
	②指定事業の実施	仕様書に指定された事業が計画通り実施されたか。
	③自主事業の実施	事業者の創意工夫によるサービスの向上や利用促進策が予定通り図られたか。
	④利用者意見の反映	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされているか。
	⑤意見・苦情等への対応	利用者からの苦情やトラブルに対し、適切に対応したか。
	⑥利用者満足度	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。
	⑦利用実績	利用者数・利用料金収入を増加する又は確保するための取組がなされているか。(導入前との比較、導入後の推移等)
	⑧地域との関わり	市民のニーズを反映した取組がなされたか。地域の住民や団体との連携が図られているか。地元住民や地元業者の活用等、地域活性化に貢献しているか。
	【評価の理由】 ⑥利用者アンケートでは、「職員の対応」で「満足」という回答が95%以上となった。	

2 評価結果

評 価 項 目		
(3) 収支状況	項目	視点
	①管理運営経費の節減	管理経費を縮減するため、効果的・効率的な執行がなされたか。
	②事業収支	収支計画は、計画どおり達成されたか。
	【評価の理由】	

【総合評価】

合計評点	39	評価ランク	A
------	----	-------	---

【総評】 ※評価を踏まえ、翌年度の指導方針や、指定管理者制度の導入目的が達成されているかを記載する。

(公財)つくば文化振興財団は、平成18年度からノバホールの指定管理を行っており、平成30年度から5期目に入っている。指定管理期間中は、着実に稼働率を向上させ、利用者からのアンケートでも高い評価を得るなど、指定管理者として十分な能力を有している。

収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響があり利用料収入は減少していたが、徐々に利用者が増えてきており、令和4年度はプラスとなった。これまでの実績も考慮すると安定しており、指定管理者による経営努力が認められ、評価に値する。また、何らかの問題が発生した場合でも、ノバホールの職員から速やかに担当課への報告が行われており、状況に応じて、迅速かつ適切な対応ができていることも評価できる。

今後も、高い満足度を維持しつつ、利用者の立場に立った管理運営を心掛けるよう指導していく。

※添付書類

事業報告書(月別施設別利用者数一覧、月別施設別稼働率一覧、自主事業実績、利用者満足度調査(アンケート調査等)結果、苦情一覧、収支報告書等)、モニタリングチェックシート、労働環境確認シート

【評価の基準】

- 4: 目標や計画を大幅に上回るすばらしい成果があがったもの
- 3: 目標や計画を上回る成果があったもの
- 2: 目標や計画どおりの成果があったもの
- 1: 工夫や改善は認められるが、結果的に目標や計画を下回っており、さらなる努力が必要なもの
- 0: 目標や計画を下回っており、(所管部署の指導にもかかわらず、)工夫、改善が足りないもの

※ ただし、採点に当たっては、目標設定の度合いを考慮して行うことができる。

【総合評価の基準】

- S: 総合的に評価した結果、特に優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が49点以上)
- A: 総合的に評価した結果、優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が39～48点)
- B: 総合的に評価した結果、適正に運営されていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が30～38点)
- C: 総合的に評価した結果、さらなる努力が必要であると認められる
(合計点が18～29点、ただし、合計点が29点以上であっても0点の項目がある場合)
- D: 総合的に評価した結果、改善すべき点があると認められる
(合計点が17点以下)